

「海の地図」ワークショップ（第一部・第二部）

瀬戸内海、海の地図学と軍港「呉」と「大和」

GISワークショップ（第三部）

身近な地域を調べて、デジタル地図をつくってみよう！

- ヒロシマ 原爆史跡を GIS でマッピング -

主催：集会委員会（担当、太田、斎藤委員）

運営実施部会：ハイパーメディア地図専門部会、学校 GIS 教育専門部会、地図史専門部会、海洋図専門部会

共催：地理情報システム学会中国地方事務局

夏休み期間中の地方での地図学会の例会です。会場は瀬戸内海（神戸、大阪から新居浜へ）と呉、広島で移動して開催されます。例会は地図学会初移動をしつつ開催する例会になります。第一部から第三部まで連続で開催されますが、部分的な参加ができます。第一部のみ乗船・宿泊が伴いますので、要予約（下記、事務局へ）といたします。第二部、第三部は現地自由集合・解散になります。第三部は実施事務局が「地理情報システム学会中国地方事務局」（広島）の竹崎（中国書店）になりますので、第三部の実施要綱をご参照ください。

第一・二部（7月29日～30日）

集 合：大阪南港 フェリーターミナル 四国開発フェリー乗り場、午後0時（正午）

集合場所への交通機関：大阪市交通局ニュートラム南港ポートタウン線「フェリーターミナル駅」下車、西へ徒歩5分

瀬戸内海クルーズ：大阪南港 13:00（出航） - 四国オレンジフェリー「オレンジ丸」 - 20:10
新居浜港着 タクシー移動 宿舎 新居浜 リーガロイヤルホテル

リーガロイヤルホテル 新居浜

〒792-0007 愛媛県新居浜市前田町 6-9 TEL (0897)37-1121 FAX (0897)37-1446

EMAILでのお問い合わせは niihama@rihga.co.jp

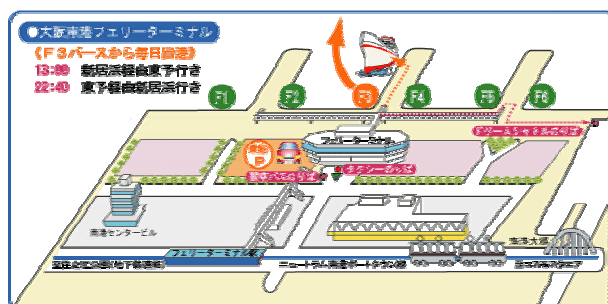
四国オレンジフェリー

第一部 参加費： 23,000 円

乗船費：8,000 円（1等料金）

宿泊費：12,000 円（1泊2食）

交通費ほか 3,000 円



第一・二部の概要

第一日目は大阪南港集合、四国開発フェリー「オレンジ 8」に乗船し、新居浜に向かいます。GPS で電子海図ビューワー (Chart Viewer: NSS) に瀬戸内海航路のフェリーの航跡を表示し、水路誌の対景図との対比などを行いつつ松山へ行きます。途中、世界的に有名な海上交通の要所、明石海峡、備讃瀬戸を大型フェリーで昼間に通り抜けます。宿泊は新居浜です。第二日目は、新居浜から今治に陸路を移動し、今治からフェリーで呉に向かいます。翌日は今治から来島海峡を抜け、呉に向かいます。呉では、第二部になります。昨年オープンした「大和ミュージアム」との共催で、軍港「呉」をテーマにした海上保安庁海洋情報部 (旧海軍水路部) のご協力で旧海軍軍機海図、海軍水路誌を東京から持参し閲覧しつつ例会を開催します。「大和ミュージアム」では、3 階の呉港を一望する市民ギャラリーで開催し、実際の景観と対比しつつ、六十数年前の軍港呉を思い浮かべることになります。

今治港よりフェリーで出発 今治→大長→久比→豊島→宮盛→呉中央栈橋

9:30

11:00



GPS アンテナ



PC の電子海図



明石海峡に向かう



四国オレンジフェリー

<http://www.orange-ferry.co.jp/index1.html>

リーガロイヤルホテル 新居浜

<http://www.rihga-niihama.co.jp/>



呉での例会の概要

呉港到着後 今治からの移動組は昼食 (11:20-12:00)。

12:00 「大和ミュージアム」玄関集合 随時入館

各自、大和ミュージアム常設展示見学 (入館料各自購入: 500 円)

- * 例会参加者は、受付後展示場 3Fへ移動（3階で受付）
- * 12時30分より展示場内で展示品への解説あり（大和ひろば集合）
- * 現地参加の方は早めにミュージアムをご見学ください。
- * ミュージアムの開館はAM9時です。3Fは市民ギャラリーのため入場は無料です。

第179例会（第二部）「呉軍港と軍機海図・水路誌」ワークショップ 開催

会場 3F 市民ギャラリー <http://yamato.kure-city.jp/index.html>



13:30 主催者側 あいさつ
プログラムの詳細は検討中

説明・話題提供者：

（予定） 戸高一成市（大和ミュージアム館長）
鈴木純子先生（地図史専門部会主査）
今井健三氏（（財）日本水路協会）

司会・進行：太田 弘（慶應義塾） 事務局：竹崎嘉彦（中国書店）

- * ワークショップの為、解説・説明後は自由に議論を進めたいと思います。
- * 参加者は、ルーペ、カメラ等持参・撮影は許可としますが、一部、貴重な軍機海図・水路誌の展示がありますので、白手袋もご用意ください。

休憩・または見学（15:00-16:00）後、 例会のまとめ 例会の終了（17:00）

* 17:30 より 懇親会（希望者）会費 5,000 で開催 呉阪急ホテル1F（「音戸」）

当日受付 <http://www.kurehankyu.co.jp/index.html>

第三部（7月31日）

さらに引き続き、広島に移動し、GISの利用・普及研究会をGIS学会の中国支部との共催でGISワークショップを企画します。

第三部の概要

GISワークショップ

身近な地域を調べて、デジタル地図をつくってみよう！

- ヒロシマ原爆痕跡をGISでマッピング -

日時： 2006年7月31日（月）

午前の部：フィールドワーク 9:30～12:00

集合場所：袋町小学校正門 朝9時30分

* 昼食（実費：弁当希望者は事務局で手配します。）（参加費は検討中）

午後の部：室内作業・発表会（一般公開）13:00～17:00



<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

午後の部は、一般の方の参加も可能です。地域学習にも利用できますので、ご興味のある方や、教職員の方のご参加をお待ちしています。

午前中はワークショップでは、GIS（ソフトに「地図太郎」を使用します。）を用いて、まちなかに埋もれる**被爆の痕跡**を探し、**デジタル地図**をつくります。午前中のフィールドワークでは、小学生、中学生、高校生と大学生でグループを作り、市民交流プラザのある広島市の中心部市街地で、それぞれ担当する地区にわかれて、**被爆建物**や、**被爆のモニュメント**を探しあて、位置を確認します。午後には、その記録を、今度は GIS ソフトに入力して、地図をつくっていきます。どんな地図ができるか、それは会場でのお楽しみです。そして、できあがった**地図の発表会**を行います。どんな地図ができあがったか、グループ同士で、地図の特徴について意見交換をしましょう。また、当日は、地理情報システム学会や、日本国際地図学会の会員である研究者や学校の先生方も会場にいらっしやっています。アドバイスをしてもらって、よりよい地図づくりに生かしましょう。

Tel. 045-814-4565

[illegible]